

介護専門職の総合情報誌

おはよう21

10
October
2021

マネジメント特集
限られた人数でも
成果の出せる
シフト運用



特集

現場はどうなる？ どう活用する？
基礎から学ぶ
“科学的介護”と“LIFE”



詳しく
知りたいわ



現場の疑問をすっきり整理
介護保険・社会保障制度情報

押さえておきたい
「痛み」の医学知識

場面別にみる
介護技術のチェックポイント

テーマ別
職場内研修はここを押さえる

けがをしにくい身体をつくる
介護職の関節トレーニング



新しい時代の研修活用法

第2回

効果的な「Off-JIT」 「OJT」のポイント

保健・医療・福祉サービス領域の人材教育機関として、現場のニーズに合った新しい研修システムの開発に取り組むお茶の水ケアサービス学院。本連載では学院長である神智淳氏が、職員研修の意義、効果的な導入方法、今後の展望について語ります。



Jin Tomiatsu

お茶の水ケアサービス学院長、コ・メディカルアカデミー学院長、日本健康医学会監事。老年学修士。介護施設、国、自治体、公益法人等多数の育成プログラム構築に関わるほか、福祉サービス第三者評価者、介護サービス情報公表の調査員の指導・育成に従事。各公益団体との共同研究や外部評価に関する講演や執筆活動、介護施設等のコンサルティングも行う。

第2回のテーマは、「失敗しない「Off-JIT」「OJT」についてです。昨年5月から配信され高評価を得ている「介護技術動画マニュアル・ネット配信」の内容紹介を交えて、解説します。

Off-JITとOJTをつなげる仕組み

研修での学びを「机上の空論」「その場のしぎ」にしないためには、Off-JITとOJTの連動が必須となる

介護現場における研修の目的は、ただ知識を得ることではなく、それによってプロとしての「なりたいたい自分」に向けて職員の行動変容が起ることです。そのために必要なのが、研修を現場での行動につなげる仕組みです。

人材育成は現場から離れた環境で行うOff-JIT (Off the Job Training) と、現場の業務を行いながら進められるOJT (On the Job Training) の2つの形態に分けられ、人材育成において車の両輪とも言える不可欠なものです。

Off-JITでは専門家である講師から理論的かつ汎用性のある知識を学び、OJTでは職場の指導者から事業所の理念に基づいた実践的な技術を学ぶことで正しい技術を現場で提供できるようになります。つまり、行動変容が生まれるのはOff-JITを経たうえでOJTということになります。

ただし、ここで多くの職場で課題となるのが、Off-JITで学んだ知識や技術をどのようにOJTに結びつけるかという点です。両者が連動していないと、Off-JITでの学びは机上の空論となり、OJTで得た技術はその場しのぎのものになってしまいます。せっかくのOff-JITが行動変容につながらない、つまり失敗だったということとなります。

私たちは、外部の教育機関として常にこの課題と向き合っています。そして開発されたのが、2020年5月にスタートした「介護技術動画マニュアル・ネット配信」です。

Off-JITとOJTが連動して、冒頭に申し上げた職員の行動変容が生まれるように設計したのです。

*

行動変容とは、それまで自分が行ってきたことの価値を見直す作業です。それほど容易にできることではないでしょう。それでもOff-JITとOJTがきちんとつながることによって、職員においては行動変容をする重要性についての意識がめばえはじめます。そして、行動変容への視点が定まってくると、いくのです。

日々、介護現場の職員たちが着実に、現場での実践を向上させていく——そうなることを願って、当学院は「介護技術動画マニュアル・ネット配信」の提供を続けています。

介護技術動画マニュアルの3本の柱



動画マニュアルの一場面



指導マニュアルの例

【座位移乗(移乗ボード)】点検表	
点検項目	チェック
ベッドの高さを調節する	
車いすをベッドに近づける 車いすは、ベッドに対して約30度の角度で近づける	
ベッドの頭部側に手をついてもらう	
利用者の座骨(移乗ボード)を挿入する側を浮かせる	
座骨を浮かせ、利用者の体を車いす側へ回転させる	
利用者の座骨の下に移乗ボードを挿入する	
車いすのシートの対角線に対して、約90度の角度に移乗ボードを設置する	
「利用者の車いす側の足」を前方に出してもらう	
ベッドに片膝をつき、利用者の横に立つ	
タイヤに足をかける	
アームサポート(利用者から見て遠い方)につかまってもらう	
「アームサポートにつかまっている手と反対側の手」で、サイドレールをベッドの手すりにつかまってもらう	
車いす側の座骨(移乗ボード上)に体重がかかるように、利用者の体を車いす側へ傾ける	
「サイドレール(ベッド用手すり)側の手」でサイドレール(ベッド用手すり)を押しってもらう	
押しながら、移乗ボードで車いす側にする	
(ベッドと車いすを通過した頃)利用者のベッド側の臀部に体重をかけてもらう	
深く着座してもらう	
体重をかけてもらいながら、移乗ボードですべてを深く着座させることが完了する	
利用者の大腿部を介助者の手で支える	
大腿部を支えながら、移乗ボードを上へあげ、はずす	

点検表の例

Off-JITとOJTをつなぐ3本の柱

「動画マニュアル」「指導マニュアル」「点検表」の活用でOff-JITとOJTの連動が可能に

「介護技術動画マニュアル・ネット配信」は、Off-JITとOJTをつなぎ「失敗しない研修」を実現するために考案された、3本の柱で構成されています。

1本目の柱は「動画マニュアル」。複数のカメラによって撮影されたさまざまな介護技術の動画が10分以内に編集されており、わが国を代表する専門家の解説によって最新の技術の流れを理解することができます。これで自己流

の技術がしっかりと修正できます。2本目の柱が「指導マニュアル」です。OJT指導者向けに「動画マニュアル」から静止画を抜粋、技術の意味やポイントを解説しています。指導者がこのマニュアルを活用することで、事業所内で統一した技術の指導が可能となります。

そして3本目の柱が「点検表」です。「指導マニュアル」で示されたポイントを時間軸に落とし込んで一覧表にしたもので、これにより、技術の習得度について、自己チェックのみならず指導者や上司による客観的なチェックも行えます。職員は、自分の技術が現在どの段階にあるのかを把握し、改善につなげることが可能です。

これら「介護技術動画マニュアル・ネット配信」の3本の柱の活用で、

